ぐんま版消費者教育教材 (特別支援学校高等部向け)

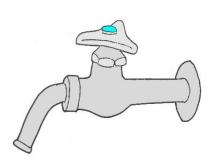
けいやく

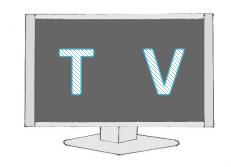
2-1 契約とは

群馬県 生活こども部 消費生活課 令和7年3月改訂 「契約」はみなさんの生活の 中にたくさんあります。

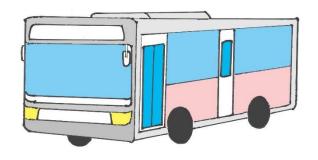
契約することで、いろいろなサービスが受けられる

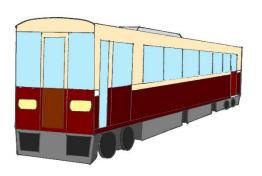






これらはすべて契約です





契約ってなに?

しょう ひ しゃ りょく

消費者カクイズ①

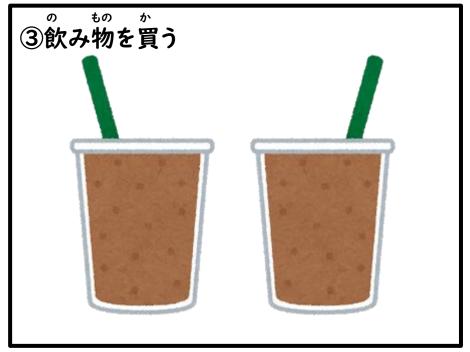
次のうち、

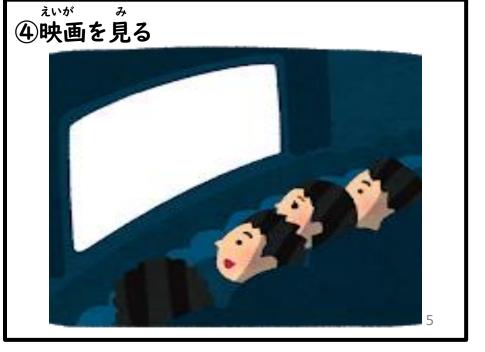
けいやく

契約はどれでしょう?















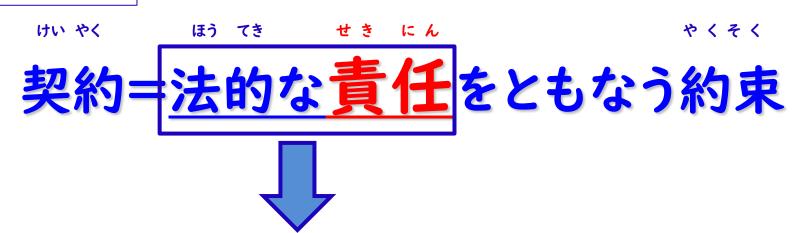


契約=法的な責任をともなう約束

お互いの気持ちが一致



ことばのせつめい



法一『法律』

法的な責任=『法律を破ったら、ばつをうける

責任があること』

けい やく

ほう てき

にん

やくそく

契約=法的な責任をともなう約束

お互いの気持ちが一致



消費者庁イラスト集より









正解は2です

きゃく もうし こ 客が申込み→



お互 た が

ていいん しょうだく
←店員が承諾



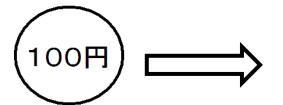
契約が成立!



契約が成立

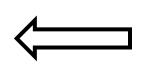


お金をはらう責任



かねうとるけんりお金を受け取る権利

はうひん 商品を受け取る権利





しょうひん せきにん 商品をわたす責任

12

消費者庁イラスト集より

お互いの気持ちが一致すると・・

けい やく しょ

契約書がなくても

くち やく そく

けい やく せいりつ

口約束でも契約は成立します

「はい」と返事をすることは、どういう意味がありますか。

じぶん

図自分はここにいます。



しつもん こた

図質問に答えられます。



わ

図分かりました。



「これを買ってください。 いいですか?」と聞かれたときに 「はい」と答えることは 「分かりました。買います。」という 意味になり、契約が成立する。

けい やく

せい りつ

契約が成立すると・・

お互いに契約内容を守らなければならない

いっぽうてき

一方的にやめることはできない

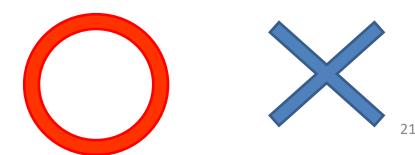
契約書をやぶり捨てても、 契約はなくなりません





消費者カクイズ③

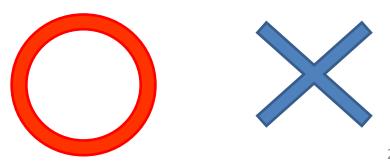
お店でスニーカーを買った。
家に帰って、よく考えたら違う商品がよかった。
翌日、商品とレシートを持ってお店に行けば、
返品できる?



かくにん ロールプレイで確認しよう みせ か しょうひん へんぴん お店で買った商品は返品できますか?

消費者力 クイズ③

お店でスニーカーを買った。
家に帰って、よく考えたら違う商品がよかった。
翌日、商品とレシートを持ってお店に行けば、
返品できる?



正解は





かって けいやく へんぴん

- ・勝手に、契約をやめて、返品はできません。
- ・サービスのひとつとして、返品に応じてくれるお店はあります。

契約が成立すると・・

お互いに契約内容を守る義務

いっ ぽうてき

一方的にやめることはできない



契約する前に シャン かんが しっかり考えよう!

なまれる 名前を書くことは、 いみ どういう意味がありますか。 図自分の持ち物だと 分かるようにする。



しょるいか

図書類に書いてあること

なっとくどうい

に納得した、同意した。



けいやくしょるいなまえ 契約書類に名前を書くこと しょるい は、書類に書いてあるとおり なっとく にすることに納得し、同意 したという意味がある。

けいやく しょるい なまえ か

契約書類に名前を書くと…

しょ るい か ないよう まも ぎ む

書類に書いてある内容を守る義務

一方的にやめることはできない



契約書類に名前を書く前に書いてある内容をよく読む! からなければ、名前は書かない



『どうしよう!』 困ったときは

しょうひ せいかつ

そうだん

消費生活センターに相談しよう





ぐん ま けん しょう ひ せいかつ

群馬県消費生活センター 2027-223-3001

○月~金曜日:9時~16時30分(電話・来所)※来所は予約制

○土曜日:9時~|2時/|3時~|6時30分(電話のみ)

【解説】

2-1 契約とは

①3頁 「契約することで、いろいろなサービスを受けられる」

部屋の照明をつける(電気供給契約)。顔を洗うために水道を使う(水道使用契約・給水契約)。テレビを見る(受信契約)。学校に通うために電車やバスに乗る(旅客運送契約)。契約だと認識していなくても、たくさんの契約で日常生活が成り立っています。

②9~11頁 「契約カクイズ②」

「お金を払う」「飲み物を受け取る」時点で契約が成立すると考える方が多くいます。9、11頁にあるようにお互いの意思が一致したときに契約が成立します。それにより消費者には「お金を払う義務」「商品を受け取る権利」が発生します。

②12~13頁「契約の成立」

実際の相談では、契約をなかったことにしようと、消費者が商品を受取拒否したり、契約書を破り捨てたりする事例もありますが、これではトラブルは解決はしません。

契約が成立すると簡単にはやめられないという意識を持ち、契約をする前に情報を収集してしつかり考えることがトラブルの未然防止に繋がります。

③21~23頁 「消費者カクイズ③ 店舗購入の返品」

自身の経験から、レシートがあれば返品できると考える方が多いですが、店舗購入の場合、店側は返品に応じる義務はありません。 31